

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校横浜ミュージックスクール
設置者名	学校法人杉山学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化教養専門課程	音楽アーティスト学科	夜・通信	2550	160	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務所に据え置きで閲覧

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校横浜ミュージックスクール
設置者名	学校法人杉山学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務所に据え置きで閲覧

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士	2019年5月 27日～2021 年5月26日	財務
非常勤	会社役員	2019年5月 27日～2021 年5月26日	運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校横浜ミュージックスクール
設置者名	学校法人杉山学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 担当教員は年度が始まる前に授業計画を立てて、シラバスを作成している。作成したシラバスは学生に配布と共に、年度当初より公表している。	
授業計画書の公表方法	事務所に据え置きで閲覧
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 全講義回数の3分の2以上の出席を満たし、かつ期末試験において60点以上取得することを条件に単位を認定している。成績評価の方法についても厳格な規定に基づき、客観的に評価されている。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

●成績評価方法

授業科目ごとの成績を素点に応じて、5段階 (S, A, B, C, D) で評価

成績の評価		GP
素点	標語 (成績表示)	
100～90	S	4.0
89～80	A	3.0
79～70	B	2.0
69～60	C	1.0
59～0	D	0.0

客観的な指標の
算出方法の公表方法

事務所に据え置きで閲覧

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定には 1740 時間以上の授業に出席し、70 単位以上の取得が必要となる。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

事務所に据え置きで閲覧

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校横浜ミュージックスクール
設置者名	学校法人杉山学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務所に据え置きで閲覧
収支計算書又は損益計算書	事務所に据え置きで閲覧
財産目録	事務所に据え置きで閲覧
事業報告書	事務所に据え置きで閲覧
監事による監査報告（書）	事務所に据え置きで閲覧

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化教養		専門	音楽アーティスト学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	単位 1740 時間 ／単位	単位 420 時 間/単 位	単位 時間/ 単位	単位 240 時 間/単 位	単位 時間/ 単位	単位 1890 時間/ 単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		103人	1人	4人	22人	26人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要）担当教員は年度が始まる前に授業計画を立てて、シラバスを作成している。作成したシラバスは学生に配布と共に、年度当初より公表している。
成績評価の基準・方法 （概要）全講義回数の3分の2以上の出席を満たし、かつ期末試験において60点以上取得することを条件に単位を認定している。成績評価の方法についても厳格な規定に基づき、客観的に評価されている
卒業・進級の認定基準 （概要）卒業認定には1740時間以上の授業に出席し、70単位以上の取得が必要となる。

学修支援等
(概要) 定期的に学生面談をおこなっている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
42人 (100%)	1人 (2.4%)	27人 (64.3%)	14人 (33.3%)
(主な就職、業界等) 音楽業界、一般企業			
(就職指導内容) グループ別、また個別に就職指導をおこなっている。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 音楽業界に資格・検定は特にない。学修成果を上げるために、多数のオーディションを実施している。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
87人	8人	9.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 定期的な学生面談、個別学生指導		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
音楽アーティスト学科	100,000 円	1,090,000 円	95,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 事務所に据え置きで閲覧		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
自己評価の結果を基に、学校の改善のために助言・支援をいただき、また関係業界と密接な連携を図ることで、教育内容・方法等の改善・充実を図ることを目的とする。		
学校関係者評価の委員 学校関係者評価を確実に実施し、2020 年度からその結果を公表するために委員の選任を行う		
所属	任期	種別
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020 年度から評価を確実に公表する。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.yms.ac.jp/>